

UNITT Annual Conference 2017

September 8-9, 2017

Tokyo Institute of Technology



日時 : 2017年 9月 8日(金) セミナー 10:00~18:00, 意見交換会 18:30~
9月 9日(土) セミナー 10:00~15:45

場所 : 東京工業大学 大岡山キャンパス
東京工業大学70周年記念講堂、南2号館 S221、222、4号館421、422、423教室
(〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1)

UNITTアニュアル・カンファレンスは、全国の産学連携関係者が集まって大学・TLOや公的研究機関の技術移転における諸課題について討議をします。講師によるプレゼンだけでなく、会場も加わった双方向の議論をします。技術移転のイロハから学べる基礎講座(特許、共同研究、ライセンス)も開設します。技術移転に関する基本から最先端の諸課題が2日間で俯瞰できるプログラムになっています。近年大学発ベンチャーの活躍が目立つようになってきました。ファンディングや政策的支援等ベンチャー起業に関するセッションを増やしています。産学連携事業に興味をお持ちの企業の方に役立つ情報が数多くありますので、大学・TLOばかりでなく企業の方々もご参加してください。

*今回から参加者にRTTP(国際認定・技術移転プロフェッショナル)のCEポイントが10ポイント付与されます。

セミナー会費 : 一般 20,000円(当日お申込み: 22,000円)、学生 2,000円(当日お申込み: 同額)

賛助会員(個人) 10,000円(当日お申込: 12,000円)

※大学技術移転協議会の会員、賛助会員(法人)には無料招待、紹介企業優待等あります。

意見交換会費 : 3,000円(当日お申込み: 同額、セミナー会費とは別に必要です)

7月25日受付開始

主催 : 一般社団法人 大学技術移転協議会
共催 : 国立大学法人東京工業大学 研究・産学連携本部
協賛 : 日本弁護士連合会、弁護士知財ネット、日本弁理士会

AC2017の
スポンサー



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

お申し込みいただく場合には、申込みフォームの「会員区分(4.)」の方の紹介機関・紹介者名には「群馬大学産学連携推進課」と記載願います。

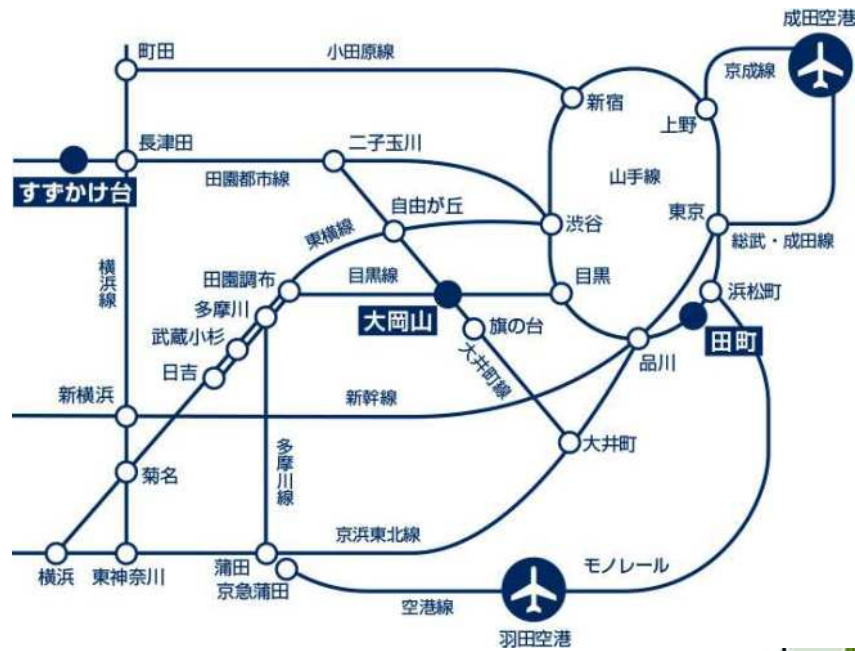
プログラム 9月8日(金)

9月8日(金)		
9:00	受付開始	
10:00- 11:00	オープニング・リマーク	
11:00- 12:00	全体セッション	(基調講演)藤嶋 昭 (東京理科大学 学長)
12:00- 13:30	昼食	
13:30- 15:30	第1時限	
セッション・テーマ	講師	セッション概要
A1 大学発技術シーズの活用事例	(M) 工藤周三(iPSアカデミア・ジャパン(株)) (S) 香月亜美(京都大学) (S) 井上正範(MPO株式会社)	セルロースナノファイバー、ゲル状爪研磨剤及びiPS細胞の実用化に向けて、何に苦勞し如何に解決したか等を紹介すると共に、会場との議論も交えて、技術移転で役立つ視点を提供致します。
B1 著作物の取扱い ～ライセンス契約や活用にあたって知っておきたい論点	(M) 内田国克(国立循環器病研究センター) (S) 瀧美元幸(和(なごみ)特許事務所) (S) 本間高弘(電気通信大学) (S) 時田穂(東京大学)	ソフトウェア、デジタルコンテンツ、出版物など、著作物に関する権利処理は、特許と異なる点も多く、慣れない方も多いのではないのでしょうか。事前のご質問も歓迎します(事務局までご連絡下さい)。
C1 特許管理～海外の成功事例とWIPOのツール	(M) ちどりペイハイム(Wellspring) (S) 星エリ(STC.UNM ニューメキシコ大学) (S) 河野上真緒(WIPO東京事務所)	技術移転総合管理ソフト・ソフィアとプリントボックスを使い特許管理・マーケティングで成功したアメリカの事例とWIPOのpatentSCOPEによる検索のメリットを紹介
D1 研究支援としてのファンドレイジング	(M) 原田隆(東京工業大学) (S) 渡邊文隆(京都大学) (S) 柴藤亮介(アカデミスト(株))	本セッションでは、研究資金獲得手法として注目されているフ民間からのファンドレイジング(寄付金獲得、クラウドソーシング)の現状と課題についてディスカッションを行う。
E1 特許基礎講座(日本弁理士会協賛セッション)	(M) 上條由紀子(金沢工業大学) (S) 安高史朗(安高特許会計事務所) (S) 久保浩三(奈良先端科学技術大学院大学) (S) 堀内美保子(鈴榮特許総合事務所)	産学連携・技術移転の現場において、必要となる知的財産(主として特許)に関する法律知識、知財の創造・保護・活用における留意点など、実務で役立つトピックについて、最近の改正点なども交えて解説する。知財マネジメントについて体系的に基礎から学びたい方は是非ご参加下さい。
15:30- 16:00	コーヒー・ブレイク	
16:00- 18:00	第2時限	
A2 海外大学の産学連携/技術移転～大学によるプロ・イノベーション活動～	(M) 高田仁(九州大学) (S) 星エリ(STC.UNM ニューメキシコ大学) (S) 坂井貴行(神戸大学)	近年の産学連携/大学技術移転では、大学自らが積極的にイノベーションプロセスに関与する傾向が強まっています。本セッションでは、米国の先進事例を紹介し、その可能性と課題について理解を深めます。
B2 アカデミア発シーズの早期産学マッチングシステム(AMEDスポンサー・セッション)	(M) 飯田香緒里(東京医科歯科大学) (S) 矢野孝彦(日本製薬工業協会、大正製薬) (S) 高谷宗男(京都大学) (S) 西村訓弘(三重大学) (S) 奥田美奈子(国立精神・神経医療研究センター) (S) 岩谷一臣(AMED)	本セッションでは、AMEDにて構築中の早期マッチングを支援するシステムとあわせて、地方大学の創薬シーズを早期に発掘して集中支援を行う人材支援について紹介する。
C2 利益相反マネジメントと技術流出防止マネジメント 臨床研究法にどう対処するか	(M) 明谷早映子(東京大学) (S) 川嶋史絵(東北大学) (S) 川澄みゆり(東京医科歯科大学) (S) 鬼頭雅弘(名古屋大学) (S) 狩野幹人(三重大学)	臨床研究法と利益相反・技術流出防止マネジメントとの関係・対応・検討事項について各大学が考察し、参加者との意見交換を行う。
D2 EDGEプログラムの総括とEDGE NEXTの課題	(M) 各務茂夫(東京大学) (S) 高田祥三(早稲田大学) (S) 相山泰生(京都大学) (S) 宮脇 守(東京大学)	2014年度～2016年度まで行われたEDGEプログラム(Enhancing Development of Global Entrepreneur Program :グローバルアントレプレナー育成促進事業)の3か年間を総括した上で、EDGENEXT(次世代アントレプレナー育成事業:2017年度から5年間)においてグローバルに活躍できるアントレプレナー人材、イノベーション人材をいかにして大学は育成できるか、その課題を議論します。
E2 共同研究基礎講座	(M) 小川隆(九州大学) (S) 梅谷昇志(広島大学)	今年で記念すべき10年目になる“基礎”講座です。共同研究契約について分かりやすく説明します。産学連携関係の経験が浅い方向けの講座です。
18:30- 20:30	意見交換会	

プログラム 9月9日(土)

9月9日(土)		
10:00- 12:00	第3時限	
A3 躍進する中規模大学の取組とスモールオフィスマネジメント	(M) 植中浩子(岩手県立大学) (S) 佐田洋一郎(山口大学) (S) 狩野幹人(三重大学) (S) 石橋史朗(会津大学)	地方中小規模大学における実施許諾収入増加や知財教育等の取組を紹介し、躍進の理由と中小規模ならではの魅力等について議論する。
B3 戦略的かつ柔軟な共同研究契約締結に向けた「さくらツール」の活用	(M) 林いづみ(桜坂法律事務所) (S) 正城敏博(大阪大学) (S) 大西晋嗣(関西TLO株) (S) 戸田裕二(株)日立製作所)	「とりあえず共有」から「成果活用型」モデルへ。共同研究成果の多様な出口を追求し、事業化可能性を高めるため、モデル契約書等からなる「さくらツール」を活用し、戦略的かつ柔軟な産学連携を目指します。
C3 知財支出と収入のマネジメント～『日本版仮出願制度』の活用方策を含めて	(M) 対馬正秋(岩手大学) (S) 鈴木真也(北海道大学) (S) 栗山俊之(立命館大学) (S) 山口 和弘(創英国際特許法律事務所)	経済パフォーマンスを向上し、限られた知財予算でいかに収入を増やし、効率的なマネジメントが可能か議論する。特許費用低減策例では、知財管理面のヒントや、改正特許法第38条の2を「日本版仮出願制度」として活用した場合の出願費用削減方策を紹介する。
D3 大学発ベンチャー育成への取組と課題	(M) 大泉克彦(東京大学協創プラットフォーム開発株) (S) 樋口哲郎(東北大学ベンチャーパートナーズ株) (S) 楠美公(京都大学イノベーションキャピタル株) (S) 岩本暢(大阪大学ベンチャーキャピタル株)	このセッションでは東北大学、東京大学、京都大学、大阪大学の4つの大学で行われている大学発ベンチャー育成への取組を紹介し、パネルディスカッションでは育成に向けた課題を討議します。
E3 RTTP(国際認定・技術移転プロフェSSIONナル)になろう!	(M) 加藤浩介(大阪大学) (S) 坪内寛(UniBridge 知財コンサルティング事務所)	これまでにRTTP認定を受けた経験者から体験談や書き方のコツを聞き、その場で参加者が自分のRTTP認定申請書を書いてみる参加型のワークショップです。
12:00- 13:30	昼食	
13:30- 15:30	第4時限	
A4 文系の産学連携	(M) 白田大介(株)東北テクノアーチ) (S) 南了太(京都大学) (S) 成田真一(株)東大TLO) (S) 片桐大輔(株)アミンファーマ研究所)	技術移転の対象となる大学シーズの大半は自然科学に立脚した研究成果(理系シーズ)であるが、本セッションでは観光産業等の新規事業創出を狙った産学連携活動を事例に文系シーズの技術移転可能性を議論したい。
B4 産学連携とURAの協働～URAの代表的な活動事例をもとに考える～	(M) 高橋真木子(金沢工業大学) (S) 桑田薫(東京工業大学) (S) 小泉周(自然科学研究機構)	多岐にわたるURA機能の中でもPre-AwardとIR(InstitutionalResearch)への期待は大きい。今回は、Pre-からPost領域にわたるプロジェクトマネジメントと、研究力把握指標の提案も含めた広義のIRについて活動を紹介する。また、産学連携・技術移転活動との連携という観点も含め議論する
C4 大学の特許価値を高めるために～米国の権利行使事例をもとに～(日本弁理士会協賛セッション)	(M) 木下忠(東北大学) (S) 松村啓(志賀国際特許事務所) (S) 駒谷剛志(山本特許法律事務所) (S) 岩崎孝治(英知国際特許事務所)	日本の大学の知財収入が米国と比較して桁違いに少ない一因として、法的対応力の欠如が指摘されている。本セッションでは、米国等の大学の権利行使事例をもとに、大学の特許価値を高めるための課題について検討する。
D4 大学が特許権を取得する理由	(M) 正城敏博(大阪大学) (S) 寺内伊久郎(北海道大学) (S) 狩野幹人(三重大学)	技術移転のためだけでしょうか。競争的資金獲得、教育・研究の活性化、大学経営・収益化、非競争領域・様々な視点を取りざたされています。初参加の方からベテランまで、皆さんとともに考えるセッションです。
E4 ライセンス基礎講座	(M) 大西晋嗣(関西TLO株) (S) 山本貴史(株)東大TLO) (S) 水田貴信(株)東北テクノアーチ)	技術移転活動の基礎的なことをご紹介します&振り返るセッションです。今年は事前及び会場からのご質問に対して実務経験豊富なスピーカーの方々と会場のみなさんとでディスカッションします。
15:30- 15:45	クロージング・リマーク	

アクセス



東京工業大学 大岡山キャンパス

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

アクセスマップ: <http://www.titech.ac.jp/maps/index.html>

最寄駅
 ・大岡山駅(東急大井町線・目黒線)
 大岡山東地区 正門まで徒歩1分
 ・石川台駅(東急池上線)
 石川台地区 南門まで徒歩7分

8日午後、9日午前、午後
 のセッション会場
 9日(第2日目)総合受付

大岡山南地区

南4号館

南2号館

セブン・イレブン



8日夕方
 意見交換会会場

70周年記念講堂

8日午前 全体セッション会場
 8日(第1日目)総合受付

大岡山東地区

大岡山駅

お申込み方法

1. お申込方法

大学技術移転協議会ホームページ <http://www.unitt.jp> にて受付

2. お問い合わせ先

大学技術移転協議会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目6番2号 第2秋山ビル6階

TEL:03-5402-1857 FAX:03-5402-1859

E-mail:contact@unitt.jp